

令和7年度 第5回 中ノ町小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年2月18日（水） 14時00分から15時30分まで
- 2 開催場所 中ノ町小学校 3階会議室
- 3 会長挨拶
- 4 校長挨拶
- 5 出席委員 齋藤 誠、堀内 秀哲、鈴木 巧、瀧 幸仁、鈴木 景子、金原 佐知子、
山下 直行、佐藤 理、藤井 琴美
- 6 欠席委員
- 7 オブザーバー 堀内 信広（天竜協働センター所長）
木村 香織（新規委員、新規学校支援CD）
- 8 学 校 河合 享子（校長）、河口 裕之（教頭）、白鳥 直樹（CS担当教員）
小野 佐恵子（CSディレクター）
- 9 傍聴者 なし
- 10 前回の会議録の確認
- 11 議長の選出 議長の選出について意見を求めたところ、他の議員より齋藤会長の名前が
あがり、全員異議なくこれを承認した。
- 12 熟 議

○本年度の学校評価について（教務主任）

中ノ町の子供たちに育みたい力についての資料「後期学校評価アンケート結果のお知らせ」に載せた項目別に、児童、保護者、教職員別の割合を示したものを表にしたものをひと通り教務主任から説明した。時おり校長からの補足説明もあった。

議長の指示により、以下の発言があった。

- ・3年生の地域のまちなかたんけんは、子供たちもよく勉強して自分たちなりの工夫があり、地域のことをよく知ってもらうこと、活用していくことで工夫がみられてよかった。地域の資源を活かした取り組みは、たくさんやってもらえればと思う。（巧委員）
- ・3、4年生の版画のお手伝いに行ったのだが、児童は忘れ物もないし、ちゃんと準備して始めている。早く出来た子は、終わればどんどん自分たちで考えて掃除も始めている。素晴らしいなど。（金原委員）
- ・子供たちが親から言われずにねばり強く取り組んで、出来ていると言っている。教師からみればもうちょっとというのがもあるかもしれないが、子供たちは自分で出来ていると言っている。その意識が高いのではないかと思う。（堀内委員）
- ・アンケートの中で、安全に気をつけて生活を送ることが出来たかについて、小2の息子が、一緒に自転車で走ると、左右見ないで交差点をつつきたりする。親の目から見たら危ないなどと思う。ふだんから生活で注意していかないといけないと思った。（佐藤委員）
- ・幼稚園に行ったら積み木を砦のように高く積み上げていた。しかし、積み上げていた入口の部分を壊してしまった。まわりの子は「あーあ」と言ってがっかりするかと思ったら「これで入口が広がって通りやすくなったね」と言い、中ノ町の子は優しいんだなと思った。素直で優しい子供が多い。課題があった時は1時間勉強やって1時間遊ぶのだったのが、こ

のころは30分課題やって、30分遊んでというやり方をする。自分で課題を見つけて、というのはハードルが高いのかなと思う。(景子委員)

- ・自転車の飛び出しや斜め横断は結構あると思うので、気になっている。子供たち主体でいろいろなことを進めるのはとてもいいが、学力面では課題を減らしてなくなっていくことに保護者が危機感を感じており、一生懸命やらせている子は学力が伸びていて、そうでない子は落ちてしまっているのかと思う。親が見てあげないと成績はどうなのか、その差が中ノ町は大きいのかと。低学年の子は自発的というのはまだ難しい面があると思うので、その辺の差もあると思う。保護者同士で話しても、一生懸命やれている人と課題がなくてよかったと言って放置する人がおり、その差もあると思う。(瀧 委員)
- ・こども食堂で母親たちと話すと、課題がなくて返って面倒という声も聞かれる。みなさん、悩みながらやっているのかなと思う。(堀内委員)
- ・子供たちは、自分ではよい自己評価をする。通学路で旗を振っても、向こうから挨拶する子は少ないが、変な人いるから、その辺は彫刻刀やカッター等の授業を保護者が見に行った時はケガもなかったので、ふだんから教師が注意されているかなと思った。ボランティアをすると地域の人たちと子供たちは距離が近いという感じはするので、このまま同じように進めてもらえればと思う。(齋藤委員)

ここで、校長からは「勉強とは」「学力とは」の問いかけに対する考え方や、夏休み中の宿題についての取り組みの説明があった。

- ・みんなで話し合っていくというのも学力としてとらえるようにしている。(齋藤委員)
- ・先日、問題が10問あって4問解ければよいということだったが、4問やったからと終了する子がいた。わからない子が4問やれたらいいねということだったのに。そういった、学力だけではない部分も評価してあげないといけないかなと思った。(金原委員)
- ・今はまだ以前からの学習方法にしばられている感じがある。教師の考え方も、保護者の考え方も将来的には変わっていかなくてはいけないと思う。(瀧委員)
- ・評価は点数だけではないことを保護者もとらえていく方向にいかないといけないと思う。点数は評価しやすいけど、そうではない部分も評価していかなくてはいけないかと。(巧委員)

○来年度の学校運営基本方針について(校長、教頭、教務主任)

校長からは、11月の第4回のCS会議のあとの行事内容の変更等について説明と、令和8年度のグランドデザインを元に補足説明があった。

教頭からはいじめの件数について報告があり、教務主任からは、主な行事予定をもとに、4月の入学式と5月の運動会が昨年より遅くなっていること、インフルエンザ等の感染症や2月の6年生を送る会を鑑みて3学期の学習発表会の時期を考慮している旨の補足説明があった。

- ・サッカーはまだ地域活動としてやっている子がいるが、運動が大きくなっても続けていってくれる子がだんだん減ってきているので、楽しく続けてくれるといいと思っている。(巧委員)

○学校運営協議会の自己評価について

齋藤委員より各委員からの自己評価表を集約した内容についての説明があった。

○教頭より学校運営協議会での「夢育やらまいか事業」において若干の変更を伴いながらも計画通り利用した旨の報告があった。

13 連 絡、その他

校長から、最近の教員不足を懸念して、手を挙げる人を求める話と朝と午後の見守り、今年度の開催は今回で終了し、来年度の初回は5月13日を予定していることをお知らせした。